

2019年1月15日

一般社団法人つくし青年会議所
2019年度理事長 友石 淳 殿

2018年度 監事 堺 大輔
2018年度 監事 小鳥居寛貢
2018年度 監事 野本 和範



監査報告書

1. 監査の方法及び内容

一般社団法人つくし青年会議所定款第20条1項及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条1項の規定に基づき、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めてまいりました。また、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況の調査を下記のとおり行いました。

記

日 時 2019年1月10日 10:00～18:00
場 所 一般社団法人つくし青年会議所 事務局
立会人 2018年度 専務理事 武藤孝史朗
2018年度 常務理事 井筒 康貴

以上の方法に基づき、2018年度（自2018年1月1日至2018年12月31日）に係る事業報告及びその附属明細書並びに計算関係書類（貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書、これらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 業務監査

(一) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

なお、2018年度は「不易流行」～不変の志と先駆けの精神が生み出す新たな価値の創造～のスローガンのもと、設立40周年よりひとづくり事業として継続的に行われている「つくし寺子屋2018」を行い、多くの参加者やボランティアに支えられて成功を収め、「TERAKOYA REPORT」としてこれまでの寺子屋を検証した報告書を作成し、関係機関に配布致しました。そして、まちづくり事業として「つくしスポーツ振興計画」に基づき外部移管された「ラグビーフェスティバル2018」開催に協力、同じくラグビーワールドカップ2019日本大会へ認知度向上やスポーツへ触れる機会を設ける「つくしスポーツフェスタ2018」を開催、共に多くの参加者のもとに成功を収められました。さらに、那珂川町の市政移行という筑紫郡の呼称が無くなる節目の年である事から「筑紫地区未来フォーラム」を举行、5市の市長を始めとした各行政関係者等の参加して頂きました。また、内部の充実を図るため例会事業や新入会者セミナーを行い、メンバーの意識の醸成や資質向上に注力しました。これらの成果は2019年度に繋がるものだと思います。